I-O DATA

Apple iMac,iBook,PowerMacintosh G3/G4,PowerBook G3シリーズ
NEC PC98-NXシリーズ
DOS/Vマシン　対応

USB対応　外付型ハードディスクドライブ

HDA/USB Series

取扱説明書

ダミー表紙付

株式会社 アイ・オー・データ機器

63984-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is only suitable for use in Japan. We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries. We neither provide any technical support and/or after-service for the use of this product abroad.)
11) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
13) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- **I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。**
- **i・CONNECTおよびi・CONNECTのロゴは、株式会社アイ・オー・データ機器の商標です。**
- **Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。**
- **Apple,Macintosh,Power Macintosh,PowerBook,Mac,Mac OSロゴおよびその標章は、米国Apple Computer,Inc.の登録商標です。**
- **iMac,iBookは、米国Apple Computer,Inc.の商標です。**
- **Intel,Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。**
- **その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。**

HDA/USBシリーズ 取扱説明書
2000.Jul.27 63984-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1

© 2000 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにVERシールをお貼りください

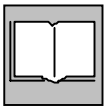
VERシール

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

● 呼び方

呼び方	意　味
HDAシリーズ	添付の別紙をご覧ください。
MOA-iシリーズ	MOA-i1300およびMOA-i640Sの総称
MOA-AXシリーズ	MOA-AX1300(W),MOA-AX640S(W)およびMOA-AX230H(W)の総称
Macintoshシリーズ	PowerMacintosh G3/G4,PowerBook G3,iMacおよびiBookの総称
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System、および Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Editionの総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional
Windows NT	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0およびMicrosoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 3.51の総称
Windows 3.1	Microsoft® Windows® Operating System Version 3.1
Windows	Windows 98,Windows 2000,Windows NTおよびWindows 3.1の総称



もくじ

お読みになる前に..... i
もくじ..... ii

はじめに……1

箱の中には ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
動作環境 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
ユーザー登録しよう ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
取り扱いおよび使用上の注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
各部の名称・機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
添付品を取り付けよう ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

Mac OSでご使用の場合……１３

ステップ1　セットアップしよう ・・・・・・・・ 14
ステップ2　一部のiMacでの注意事項 ・・・・・・ 15
ステップ3　基本操作について ・・・・・・・・・・ 17
ステップ4　本製品を初期化しよう ・・・・・・・・ 22
補足1　サポートソフトの削除 ・・・・・・・・ 24

Windows 98でご使用の場合……２５

ステップ1　セットアップしよう ・・・・・・・・ 26
ステップ2　基本操作について ・・・・・・・・・・ 32
ステップ3　フォーマットしよう ・・・・・・・・ 33
補足1　サポートソフトの削除 ・・・・・・・・ 41

Windows 2000でご使用の場合……43

ステップ1　セットアップしよう　……　44
ステップ2　基本操作について　……　50
ステップ3　フォーマットしよう　……　52
補足1　サポートソフトの削除　……　66

付 録……69

困った時には　……　70
本製品を複数のOSで使う　……　79
i・CONNECTについて　……　82
用語解説　……　83
ハードウェア仕様　……　84

サポートセンターへのお問い合わせ　……　85
サポートソフトのバージョンアップ　……　86
保証について　……　87
修理について　……　88

はじめに

箱の中には 箱の中のものを確認します。（2ページ）

▼

動作環境 本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。（4ページ）

▼

ユーザー登録しよう ここの説明を読んで、ユーザー登録をしてください。（5ページ）

▼

取り扱いおよび使用上の注意 本製品を使うにあたって、注意しなければならないことを説明します。（6ページ）

▼

各部の名称・機能 本製品のスイッチなどの名前と機能を説明します。（8ページ）

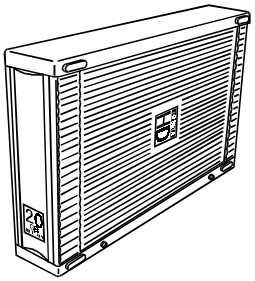
▼

添付品を取り付けよう 添付品を本製品に取り付ける方法について説明します。（9ページ）

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。
☐にチェックをつけながら、ご確認ください。
万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

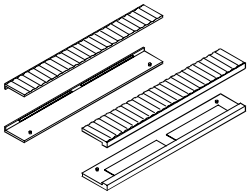
お願い：箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。



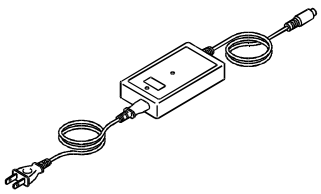
☐ **ハードディスクドライブ**
［HDAシリーズ］



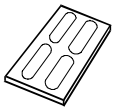
☑ **HDA/USBシリーズ取扱説明書**
［本書］



☐ **iMacカラーサイドパーツ**
（４個×５色）



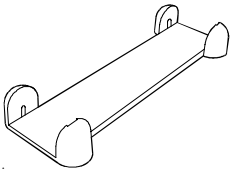
☐ **ACアダプタ**



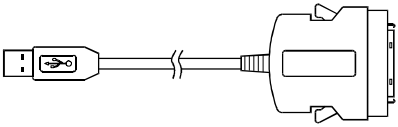
☐ **ラバーフット（４個）**
［横置き用］



☐ **HDA/USBシリーズサポートソフト**
［ハイブリッドCD-ROM(Mac OS/Windows)］
・Windows用ドライバ
・ASPIFORM(Windows 98用フォーマッタ)
・Mac OS用ドライバ



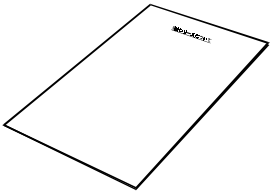
☐ **スタンド**
［縦置き用］



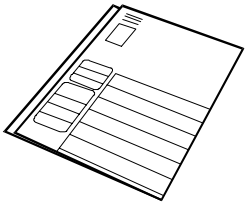
☐ USBコンバータケーブル
［USBコネクタ⇔i･CONNECT(1m)］



☐ ハードウェア保証書
（２枚）



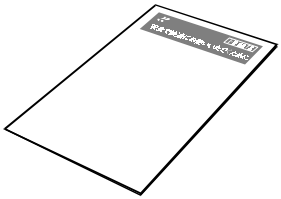
☐ 『HDAシリーズについて』



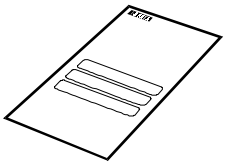
☐ ユーザー登録カード



☐ ハードウェアシリアルNo.シール
（２枚）



☐ 『安全で快適にお使いいただく
ために』



☐ Verシール

動作環境

対応機種および対応ＯＳ

USBポートとCD-ROMドライブ（インストール時）を搭載した以下の機種が対応機種です。

対応機種	対応OS(日本語版に限る)
Apple iMac※1 iBook Power Macintosh G4 Power Macintosh G3 (Blue & White) PowerBook G3シリーズ	Mac OS 8.6 Mac OS 9, 9.0.2, 9.0.3, 9.0.4,
NEC PC98-NXシリーズ※2 DOS/Vマシン※2,3	Windows 98(Second Editionを含む) Windows 2000

※1 iMac DVを含む。

※2 弊社製「USB-PCI」などのストレージ機器に対応したUSBインターフェイスを装着した機種でもお使いいただけます。

※3 CPUにPentium 75MHz以上を搭載していること。
弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っています。

本製品は「Macintoshシリーズ」と「PC98-NXシリーズおよびDOS/Vマシン」で併用することはできません。
どちらかに使い変えたい場合は、新しく使う機種にてフォーマットする必要があります。

ユーザー登録しよう

ここではユーザー登録について説明します。

1 「Verシール」を所定の位置に貼ります。

添付のVerシールを、ユーザー登録カード、本書の巻末に貼ってください。

2 「ハードウェアシリアルNo.シール」を所定の位置に貼ります。

添付のハードウェアシリアルNo.シール（２種類）を、ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

3 ユーザー登録します。

ユーザー登録にはオンライン登録と、ハガキ登録の2通りがあります。
いずれかの方法で登録してください。

●オンライン登録（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/）

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録してください。

I-O DATA ホームページに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を記入して、ユーザー登録してください。

オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

●ハガキ登録

ユーザー登録カードに、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。

・弊社では、サポートセンターでソフトウェアのバージョンアップサービスなどを行っておりますが、これらのサービスはユーザー登録した方のみが対象となります。お買い上げいただいた製品ごとに必ず登録してください。
・ハガキ登録の場合、必要事項のご記入もれや必要なシールの貼り忘れがあった場合は、ユーザー登録できません。必ずご確認ください。

取り扱いおよび使用上の注意

添付の『安全で快適にお使いいただくために』もあわせてご覧ください。
また、「HDA/USBシリーズサポートソフト」CD-ROM内の「README.TXT」(Windowsの場合)、もしくは「はじめにお読みください」(Mac OSの場合)を必ずご覧ください。

● 使用する際の注意

・本製品をお使いの際は、必ずACアダプタを接続してください。
本製品はUSBポートから電源を取ることはできません。
必ず、ACアダプタを接続してお使いください。

・動作中にUSBコンバータケーブルを激しく動かさないでください。
本製品の動作中にUSBコンバータケーブルを激しく動かすと、接触不良の原因となることがあります。

・定期的にバックアップしてください。
記録されたデータやプログラムファイルは、誤動作や故障等によって破壊された場合、復旧することができません。

・アプリケーションは本製品にインストールしないでください。
OS起動時に実行されるプログラムが見つからなくなる等の理由により、アプリケーションが正常に利用できない場合があります。

・「Mac OS」と「Windows」とで併用はできません。
フォーマットの違いにより、本製品を「Mac OS」と「Windows」とで併用することはできません。他方に使い変えたい場合は、本製品をフォーマットしてお使いください。

・本製品からOSを起動することはできません。

・長時間のフォーマット（ASPIFORMによる「データ完全消去」など）やコピーをする際には、パソコンのスリープやスタンバイ機能を無効にしてください。

・USBハブに本製品を接続すると正常に動作しなくなる場合は
USBハブではなく、パソコンのUSBポートに接続してください。

●取り扱い上の注意

以下の事項を守らないと火災・感電・動作不良の原因になります。

- ●濡れた手などで本製品を取り扱わないでください。
- ●本体の汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れを落とす場合は、ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- ●高温、多湿、低温の場所に放置しないでください。
- ●コネクタ部分に金属を差し込まないでください。

●本製品の点検・修理は弊社修理係にご依頼ください。

【修理について】(88ページ)参照。

各部の名称・機能

● 前・背面



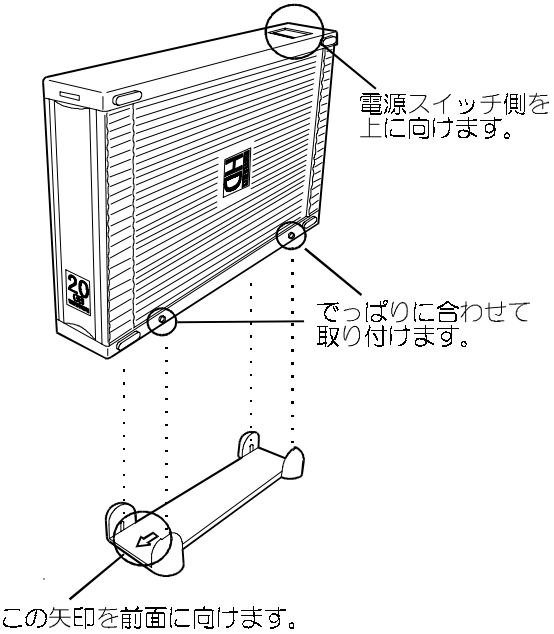
● 上面（横置き使用時は側面）



添付品を取り付けよう

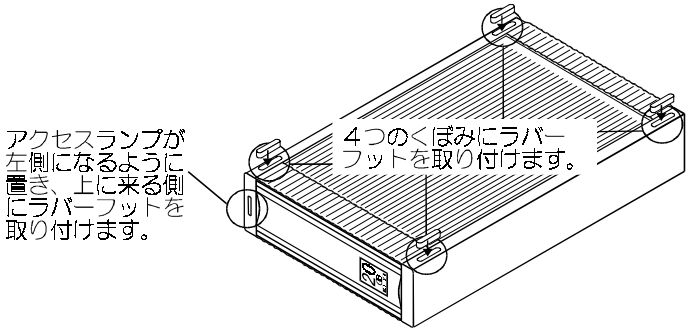
ここでは、本製品に取り付け可能な添付品（スタンド、ラバーフット、サイドパーツ）の取り付けについて説明します。

● スタンドを取り付ける（縦置きで使う）



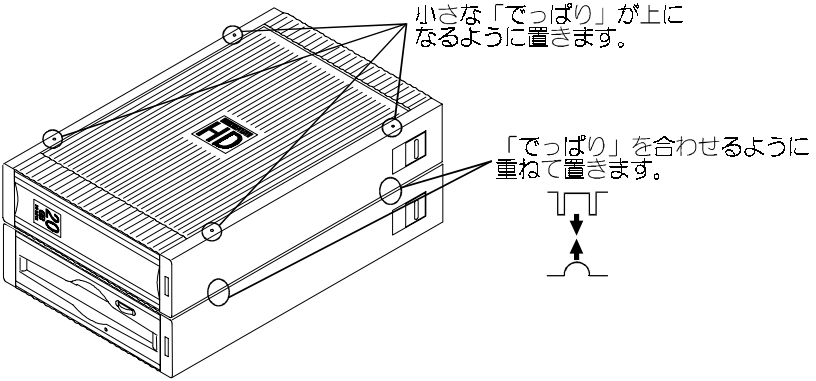
● ラバーフットを取り付ける（横置きで重ねないで使う）

本製品を他のHDAシリーズやMOA-AXシリーズ、MOA-iシリーズおよびMOA-S640W の上に重ねて使用する場合は、ラバーフットは取り付けないでください。



ラバーフットを取り付けた後は、アクセスランプが右側になるように置いて使用してください。

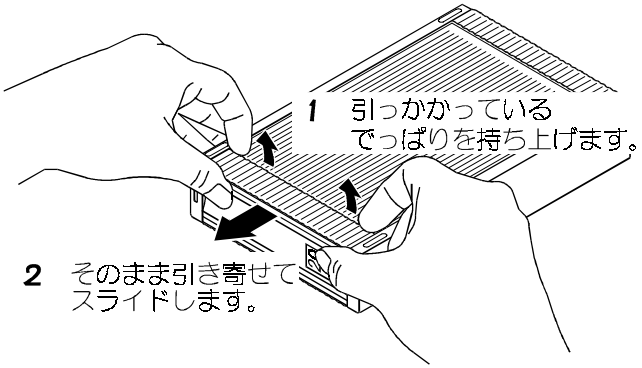
● 横置きで重ねて使う

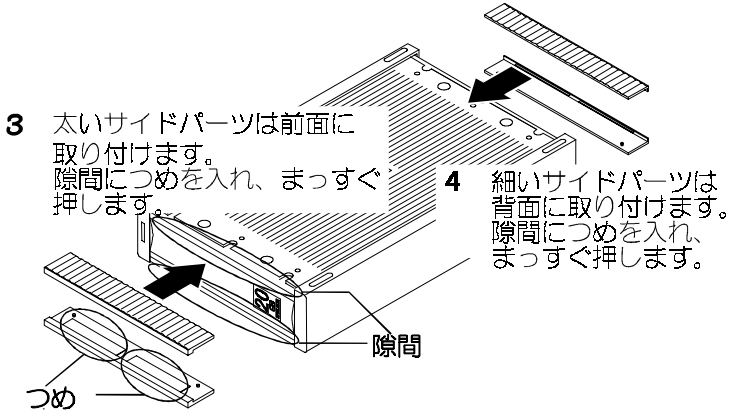


1)HDAシリーズ以外にもMOA-AXシリーズ、MOA-iシリーズおよびMOA-S640Wを重ねることができます。
2)ストーブなどの発熱体から離れた場所に設置してください。
3)積み重ねられるドライブは２台までです。

● 他の色のサイドパーツに交換する

サイドパーツは、全部で６色あります。iMacやPower Macintosh G4ユーザーの場合は、お使いのパソコンの色に合わせて取り替えてみてはいかがでしょうか。





MEMO

Mac OSでご使用の場合

ここではMac OSで使用する際の設定について説明します。

ステップ1

セットアップしよう

本製品を使えるようにする手順について説明します。(14ページ)

▼

ステップ2

一部のiMacでの注意事項

iMac DVシリーズおよびiMacブルーベリー(M7469J/A)を使う際の注意について説明します。(15ページ)

▼

ステップ3

基本操作について

本製品の基本的な操作について説明をします。(17ページ)

▼

ステップ4

本製品を初期化しよう

本製品を初期化する方法について説明をします。(22ページ)

補足1

サポートソフトの削除

サポートソフトを削除（アンインストール）する方法を説明します。(24ページ)

ステップ1　セットアップしよう

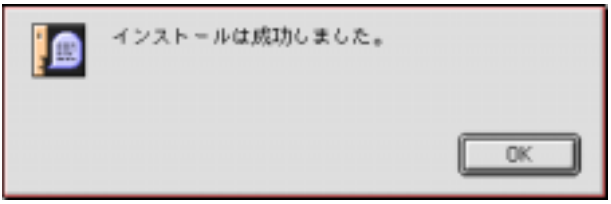
本製品を使用するには、ドライバソフトのインストールが必要です。
必ず本製品をUSBポートに接続する前に行ってください。
※セットアップを行う前に、起動しているプログラムを全て終了してください。

1　「HDA/USBシリーズサポートソフト」CD-ROMを挿入します。
⇒自動的に「HDA/USBシリーズサポートソフト」CD-ROMが開きます。

2　「Install ISD 200 Bridge J」をダブルクリックします。
開いた「HDA/USBシリーズサポートソフト」CD-ROM内にある「Install ISD 200 Bridge J」をダブルクリックします。



3　［OK］ボタンをクリックします。
インストールが終わると下の画面が表示されます。［OK］ボタンをクリックします。



4　パソコンを再起動します。

再起動後、本製品を接続してお使いいただけます。
次ページの【一部のiMacでの注意事項】をご覧ください。

ステップ２　一部のiMacでの注意事項

ここでは、iMac DVシリーズおよびiMacブルーベリー(M7469J/A)を使う際の注意事項について説明します。

「iMac DVシリーズおよびiMacブルーベリー(M7469J/A)」以外の機種をお使いの場合は、読み飛ばして【基本操作について】(17ページ)にお進みください。

iMac DVシリーズおよびiMacブルーベリー(M7469J/A)をお使いの場合は、本製品をご利用の際にはスリープしないようにしてください。
スリープにした場合、以下のような現象が起こる場合があります。

・本体の電源ランプはグリーンに戻っているが、画面に何も映らない。
・画面は映るが、戻り切らずに動かなくなる。

自動でスリープにしない設定

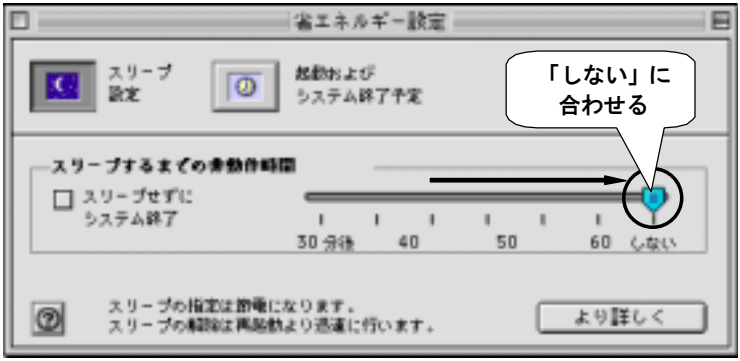
以下の設定を行い、自動でスリープにならないようにしてください。

1　［省エネルギー設定］を開きます。

［アップルメニュー］→［コントロールパネル］→［省エネルギー設定］をクリックします。

2　「スリープするまでの非動作時間」を「しない」にします。

スリープを設定するスライダーを「しない」にします。
⇒これで、自動的にスリープすることはなくなります。



手動でスリープにしない

本製品をご使用の際は、以下の点にご注意ください。

- **「Finder」メニューの[特別]→[スリープ]の手順を行わない。**
  この操作によってスリープしないでください。

スリープから戻らなくなった場合の対処方法

スリープから戻らなくなった場合は、以下のようにしてください。

本体側の電源ボタンを５秒間押しつづけて、本体の電源が落ちることを確認してください。その後、キーボードのパワーキーから起動してください。

ステップ3

基本操作について

ここでは、本製品を使うための方法を説明します。

本製品をUSBポートに接続する

用意するものは下の通りです。
- **本製品**
- **USBコンバータケーブル**
- **本製品添付のACアダプタ**

1 USBコンバータケーブルを本製品に接続します。

USBコンバータケーブルを本製品にまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

2 ACアダプタを本製品に接続します。

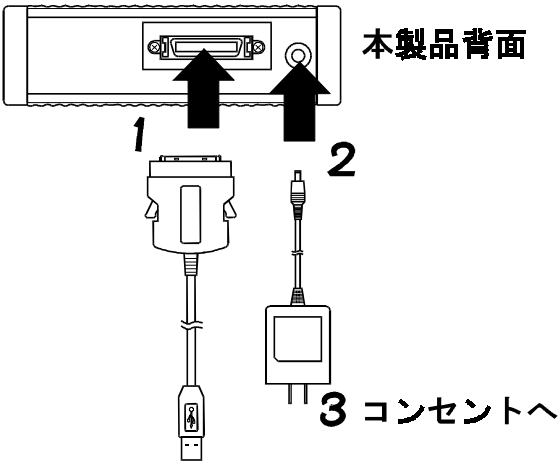
3 ACアダプタをAC100V電源コンセントに接続します。

4 本製品の電源を入れます。

必ず本製品の電源を入れた後で、パソコンのUSBポートに接続してください。

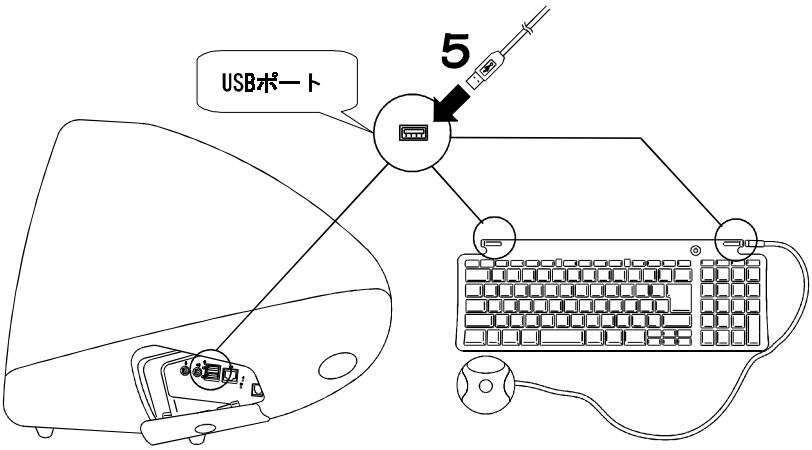
5 USBコンバータケーブルをUSBポートに接続します。

USBコンバータケーブルを、USBポートにまっすぐに差し込みます。
USBポートの場所については、次ページ以降の図を参考にしてください。

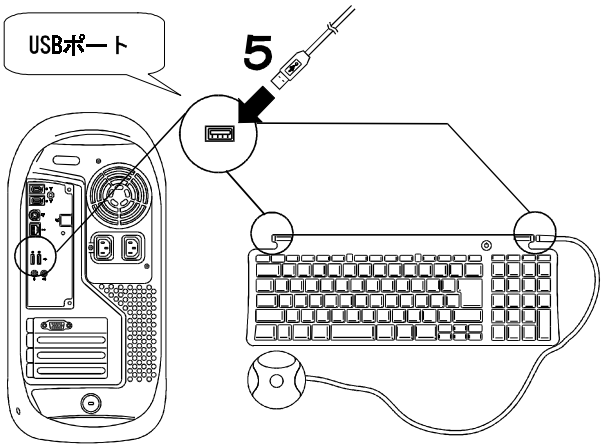




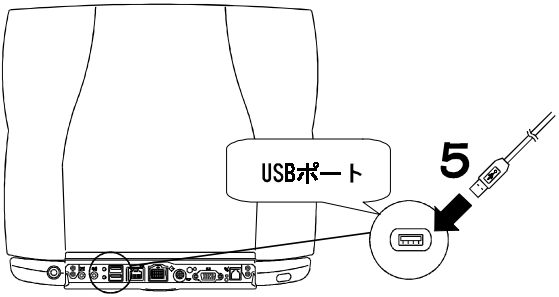
●iMacに接続する場合



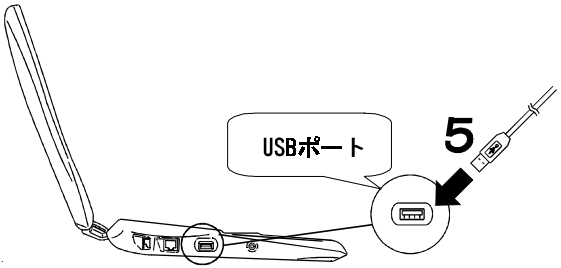
●PowerMacintosh G4およびPowerMacintosh G3に接続する場合



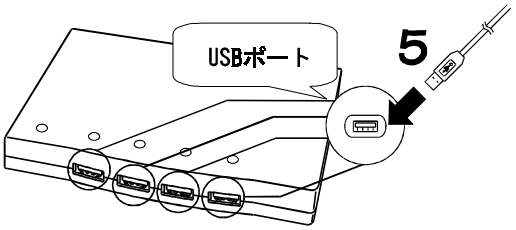
●PowerBook G3シリーズに接続する場合



●iBookシリーズに接続する場合



●USBハブ（弊社製USB-HB4シリーズなど）に接続する場合



本製品をUSBポートから取り外す

1 本製品のアイコンをゴミ箱に捨てます。

本製品内にあるファイルをアプリケーションなどで開いている場合は、必ず全て閉じてください。

2 本製品のアクセスランプを確認します。

本製品のアクセスランプが点滅していないことを確認します。

3 USBコンバータケーブルをUSBポートから抜きます。

●本製品を使用中(データアクセス中など)にUSBコンバータケーブル、ACアダプタは絶対に外さないでください。
●USBコンバータケーブルは、必ずパソコン本体側から先に抜いてください。

4 本製品の電源を切ります。

ステップ4　本製品を初期化しよう

一般的なフォーマッタソフトは、SCSIまたはATAPI（SCSIエミュレーション）の機器に対してのみ有効です。USB機器である本製品では使用できない場合があります。
必ず、本手順にて初期化してください。

1　本製品を接続します。

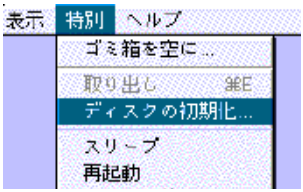
本製品が未フォーマット状態の場合は、自動的に初期化の画面が表示されます。
その場合は手順２，３を飛ばして手順４にお進みください。

2　マウントされた本製品を選択します。

デスクトップに表示された本製品のアイコンをクリックします。

3　［ディスク(装置)の初期化］をクリックします。

Finderメニューの［特別］をクリックし、表示された［ディスク（装置）の初期化］をクリックします。



4 初期化します。

フォーマットには「Mac OS 拡張」を選ぶことをお勧めします。



初期化などの際に「名前」の他にドライバ名とバージョンなどが入ることがありますが、問題ありません。



補足1　サポートソフトの削除

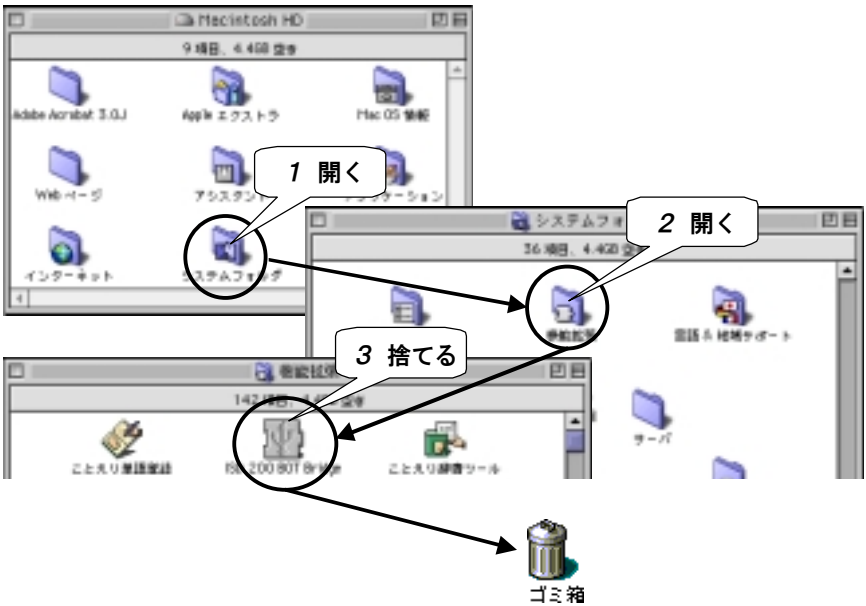
ここでは、インストールしたサポートソフトを削除する方法を説明します。

必ず、本手順をする前に本製品を取り外してください。

1　［システムフォルダ］アイコンをダブルクリックします。

2　［機能拡張］アイコンをダブルクリックします。

3　［ISD 200 BOT Bridge］を削除します。



5　パソコンを再起動し、「ゴミ箱を空に」します。

これで「ISD 200 BOT Bridge」の削除は完了です。

削除方法：削除したいアイコンをクリックしたまま、ゴミ箱に移動します。
ゴミ箱の上に来たら、マウスのボタンを離します。

Windows 98 でご使用の場合

ここではWindows 98で使用する際の設定について説明します。

ステップ1

セットアップしよう

本製品を使えるようにする手順について説明をします。（26ページ）

▼

ステップ2

基本操作について

本製品の基本的な操作について説明をします。（32ページ）

▼

ステップ3

フォーマットしよう

本製品のフォーマット方法について説明をします。（33ページ）

補足1

サポートソフトの削除

サポートソフトを削除（アンインストール）する方法を説明します。（41ページ）

ステップ1　セットアップしよう

ここでは、本製品を使えるようにする手順を説明しています。

1 Windows 98を起動します。

接続手順

ここでは本製品とUSBコンバータケーブルの接続およびパソコン（USBポート）への接続について説明します。

用意するものは下の通りです。
- **本製品**
- **USBコンバータケーブル**
- **本製品添付のACアダプタ**

2 USBコンバータケーブルを本製品に接続します。

USBコンバータケーブルを本製品にまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

3 ACアダプタを本製品に接続します。

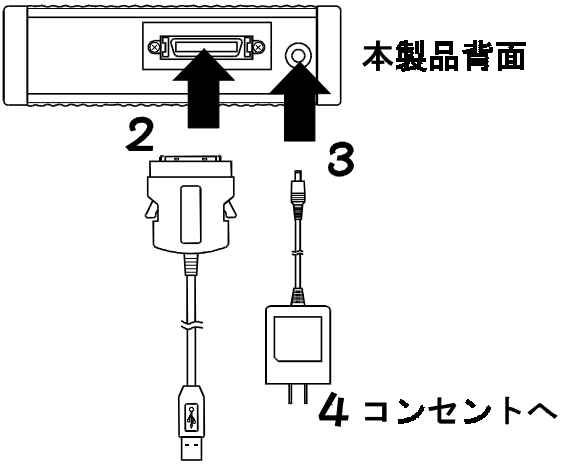
4 ACアダプタをAC100V電源コンセントに接続します。

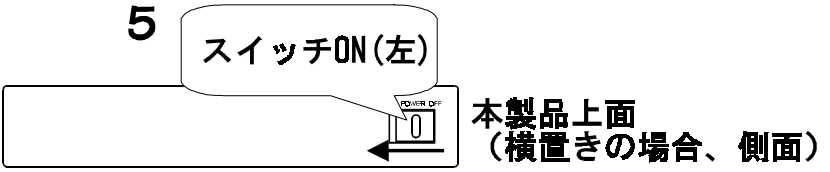
5 本製品の電源を入れます。

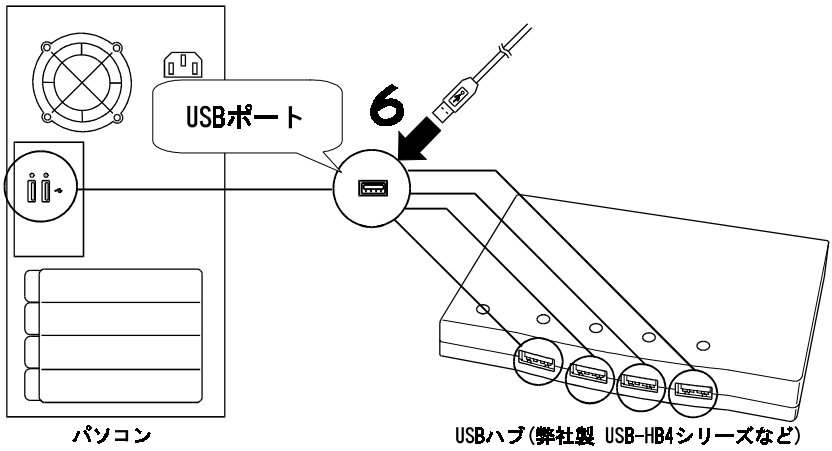
必ず本製品の電源を入れた後で、USBポートに接続してください。

6 USBコンバータケーブルをUSBポートに接続します。

手順**2**で接続したUSBコンバータケーブルのもう一方を、USBポートにまっすぐに差し込みます。


本製品背面
2
3
4 コンセントへ

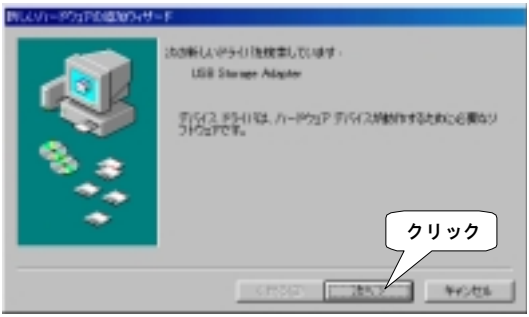

5
スイッチON(左)
POWER OFF
本製品上面
（横置きの場合、側面）


USBポート
6
パソコン
USBハブ(弊社製 USB-HB4シリーズなど)

本製品を認識させる

ここでは本製品をWindows 98上で認識させる手順を説明します。

7 以下が表示されます。［次へ］ボタンをクリックします。

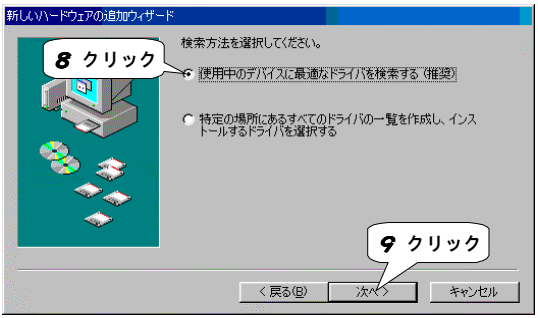


この画面が表示されない

【本製品をUSBポートに接続しても認識しない】(71ページ)をご覧ください。

8 ［使用中のデバイスに最適な……］を選択します。

9 ［次へ］ボタンをクリックします。

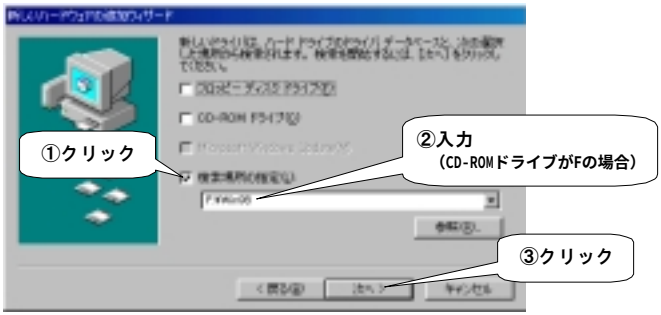


10 「HDA/USBシリーズサポートソフト」CD-ROMを挿入します。

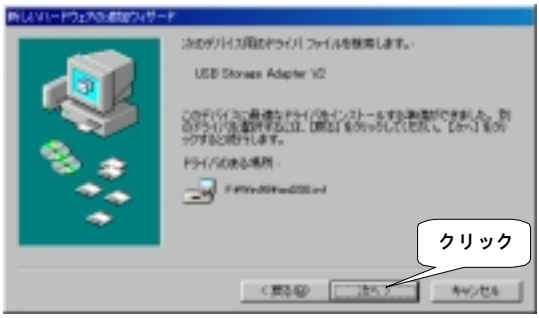
11 ［検索場所の指定］のみにチェックし、入力します。

［検索場所の指定］のみにチェックし、「F:¥Win98」(CD-ROMドライブがFの場合)と入力します。

12 ［次へ］ボタンをクリックします。



13 ［次へ］ボタンをクリックします。



14 ［完了］をクリックします。



今までの設定の確認

ここでは本製品が正しく使えるかどうか確認します。

15 ［USB Storage Adapter V2］を確認します。

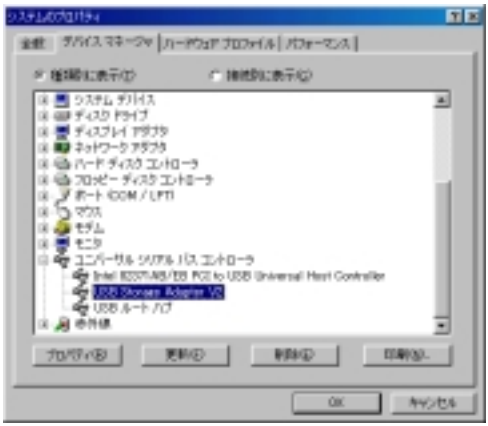
①［マイコンピュータ］を右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

②［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

③［種類別に表示］をクリックします。

④［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］をダブルクリックします。

⑤その下の［USB Storage Adapter V2］を確認します。



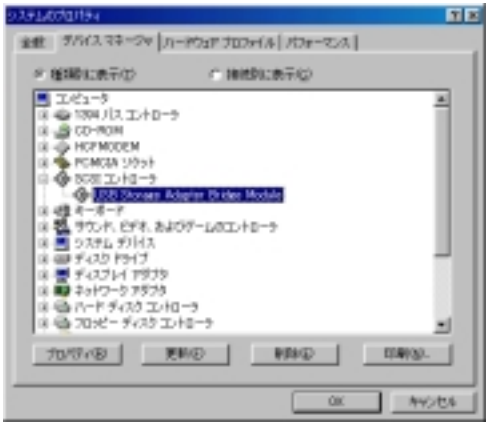
［USB Storage Adapter V2］に「！」がついている

→ 【ドライバに「！」が付いている】(75ページ)をご覧ください。

16 ［USB Storage Adapter Bridge Module］を確認します。

①［SCSIコントローラ］をダブルクリックします。

②その下の［USB Storage Adapter Bridge Module］を確認します。



［USB Storage Adapter Bridge Module］に「！」がついている

→ 【ドライバに「！」が付いている】(75ページ)をご覧ください。

以上でインストールは終了です。

この段階では、まだ「マイコンピュータ」にアイコンは表示されません。
本製品をフォーマットしてはじめて、アイコンが表示されます。

ステップ2

基本操作について

ここでは、本製品を使うための方法を説明します。

本製品をUSBポートに接続する

本製品をUSBポートに接続する方法については【接続手順】(26ページ)をご覧ください。

必ず、本製品の電源を入れた後で、本製品をパソコンに接続してください。

本製品をUSBポートから取り外す

1 本製品のアクセスランプが点滅していないか確認します。

本製品内にあるファイルをアプリケーションなどで開いている場合は、USBポートからUSBコンバータケーブルを抜く前に、必ず全て閉じてください。リード／ライト中にUSBコンバータケーブルを抜いた場合、システムが不安定になったり、本製品内のデータが破損する場合があります。

2 ［取り出し］をクリックします。

本製品のアイコンを右クリックし、表示された［取り出し］をクリックします。

3 USBコンバータケーブルをUSBポートから抜きます。

●本製品を使用中（データアクセス中など）にUSBコンバータケーブル、ACアダプタは絶対に外さないでください。
●必ずUSBコンバータケーブルはパソコン本体側から先に抜いてください。USBコンバータケーブルを本製品から抜く前に手順3を行ってください。

4 ［OK］ボタンをクリックします。

5 本製品の電源を切ります。

ステップ3　フォーマットしよう

ここでは、本製品をフォーマットする方法について説明しています。
購入後初めて使う場合は、本製品を一度フォーマットしなければ使えません。

ASPIFORM（アスピーフォーム）について

ASPIFORMは本製品をWindows 98でフォーマットするためのソフトです。

●「マイコンピュータ」内のアイコンを右クリックでのフォーマットおよびFDISK、FORMATコマンドでは、正常にフォーマットできません。使わないでください。
●ASPIFORMで作成可能なパーティション数（区画領域数）は、最大５つまでです。

パーティションを作成します

本ハードディスクに限らず、通常1台のハードディスクは、全容量を１つ以上のいくつかの領域に分割して使用することができます。
この領域がパーティション（区画領域）です。
パーティションを作成しないとハードディスクは使用できません。

パーティションの作成はASPIFORMで行います。ASPIFORMでパーティションの数とそれぞれのパーティションのサイズを設定することができます。
また、分割したパーティション毎にドライブ名が割り当てられるため、1台のハードディスクを複数台のドライブがあるかのように利用できます。

例１）本製品の全容量を１つのパーティションで使用する場合
本製品のドライブ数（ドライブ名）は１つ割り当てられます。

例２）本製品を３つのパーティションで使用する場合
本製品のドライブ数は３つ割り当てられます。

パーティションを作る際の制限について

パーティションを作る際は、ファイルシステムによって制限があります。

● ファイルシステムとその特徴

ファイルシステム	特徴
FAT32	１つのパーティションあたりの最大容量は「約2Tバイト」です。
FAT16	１つのパーティションあたりの最大容量は「2047Mバイト」です。

●T(テラ)バイト：1Tバイト=1,000Gバイト=1,000,000Mバイト
●本製品を複数のOSで使う場合は、【本製品を複数のOSで使う】(79ページ)も参考としてご覧ください。

● FAT16ファイルシステムとASPIFORMによる制限

ASPIFORMは最大５つまでしかパーティションを作成できません。
そのため、FAT16ファイルシステム（1つのパーティションの最大容量2047Mバイト）で使用する場合、最大10Gバイト（5つのパーティション × 2047Mバイト）までしか使用できません。

● FAT32使用時の注意

●ASPIFORMで作成したFAT16のパーティションをFAT16→FAT32コンバートツール(Windows 98のFAT32コンバータなど)を使ってFAT32に変更しないでください。
FAT16で作成したパーティションをFAT32に変更してご使用になりたい場合は、ASPIFORMを使用して、パーティションを削除し、FAT32でパーティションを作成しなおしてください。
（ただし、削除したパーティションのデータはすべて失われます。
削除する前に必要なデータのバックアップをとることをお勧めします。）
●FAT32ファイルシステムに対応していないディスクユーティリティを、FAT32として作成したパーティションに対して使用しないでください。
●FAT32に対応していないOSと併用する場合は、FAT16でパーティションを作成してください。

フォーマットしよう

●ASPIFORMではマウスでの操作はできません。矢印キー（[↓][↑][→][←]キー）にて選択（カーソル移動）してください。
●本作業を行う際には、本製品以外の外付ハードディスクをできるだけ取り外してください。

1 本製品がパソコンに接続されていることを確認します。

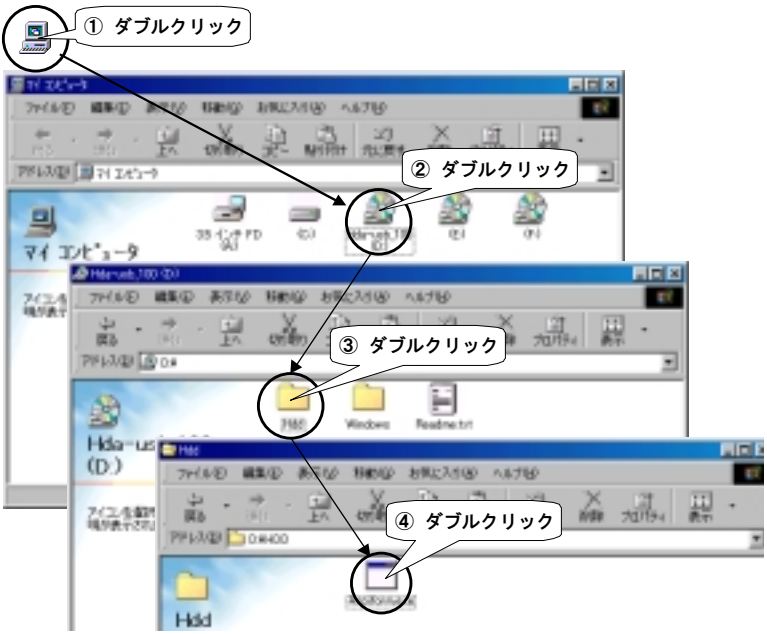
※ 接続方法は、【接続手順】(26ページ)をご覧ください。

2 「HDA/USBシリーズサポートソフト」CD-ROMを挿入します。

「HDA/USBシリーズサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。

3 『Aspiform.exe』を起動します。

『ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』→『HDA-USB 1XX』→『Hdd』→『Aspiform.exe』を起動してください。



4 対象ドライブを確認後、↵キーを押します。

本製品は、「デバイス種別」に「ハードディスク」と表示されているものです。



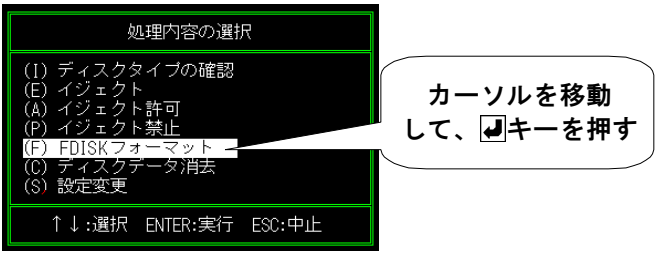
“対象ドライブがみつかりません。“
と表示されたら

本製品が正常に認識されていません。
［ESC］キーでASPIFORMを終了します。
その後、【基本操作について】(32ページ)を参照して本製品を一旦取り外し、もう一度取り付けてください。
取り付けおわったら、もう一度本作業の**手順1**からやりなおしてください。
それでもだめな場合は、取り付け後、【今までの設定の確認】(30ページ)を参照し、本製品が正常に認識されているか確認してください。

●他のハードディスクをお使いの場合は、誤ってハードディスクの内容を消してしまわないようにご注意ください。
ただし、内蔵IDEハードディスクは表示されませんので、誤って内蔵IDEハードディスクの内容を消すことはありません。
●内蔵CD-ROMドライブなどが表示されることがあります。
ただし、それを選択することはできません。

5 「(F) FDISKフォーマット」を選択します。

「(F) FDISKフォーマット」に[↓][↑]キーでカーソルを移動し、↵キーを押します。



●「(I) ディスクタイプの確認」を行い、「未フォーマット」ならば本製品です(新規購入時のみ)。
●各項目の詳細については、【ASPIFORMの処理内容について】(40ページ)を参照してください。

6 「パーティションの作成」を選択します。

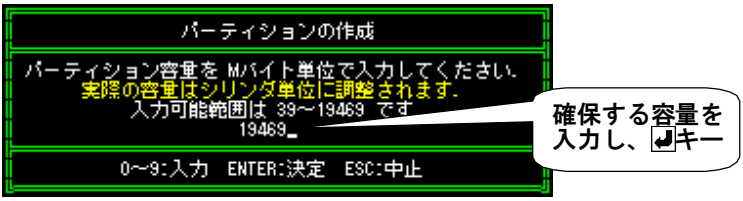
「パーティションの作成」に[↓][↑]キーでカーソルを移動し、↵キーを押します。



7 確保する領域の容量を入力して、↵キーを押します。

最大容量を確保する場合は、そのまま↵キーを押します。

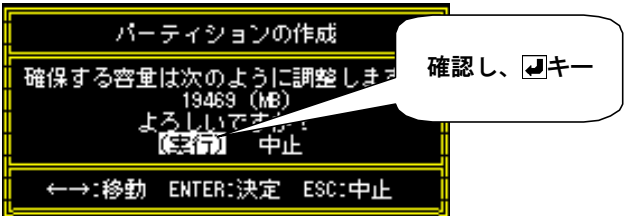
表示例



使用しているOSによって、作成できるパーティションの最大容量と、ファイルシステムは異なります。
【パーティションを作る際の制限について】(34ページ)を参照してください。

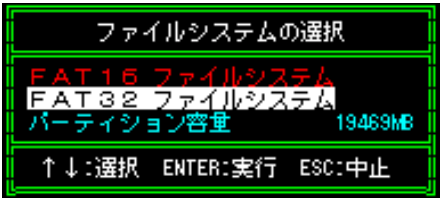
8 容量を確認し、「実行」を選択します。

「実行」に[←][→]キーでカーソルを移動し、↵キーを押します。



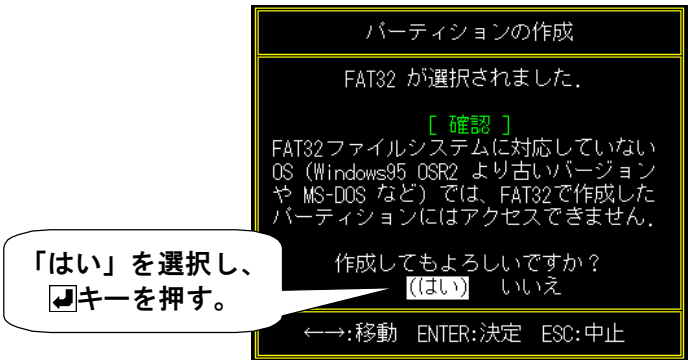
9 ファイルシステムを選択します。

⇒フォーマットが開始されます。



通常は片方のみ選択可能ですが、指定した容量によっては両方選択可能になる場合があります。FAT32ではOSによって認識できないことにご注意ください。
【パーティションを作る際の制限について】(34ページ)を参照してください。

10 **「FAT32 ファイルシステム」の場合、以下が表示されます。**
画面上のメッセージを確認し、作成しても良いなら「はい」を選択し、↵キーを押します。



11 **フォーマットが終わりましたら、↵キーを押します。**

12 **複数のパーティションを作成する場合**
複数のパーティションを作成する場合は、**手順6**からの作業を繰り返し、残りの容量を確保してください。

13 **[ESC]キーを4回押し、ASPIFORM.EXEを終了します。**

14 **終了後、ASPIFORMのウィンドウを閉じます。**
終了後、ASPIFORMのウィンドウの［×］ボタンをクリックして閉じます。

15 **「HDA/USBシリーズサポートソフト」を取り出します。**
「HDA/USBシリーズサポートソフト」をCD-ROMドライブから取り出します。

16 **パソコンを再起動します。**

以上でフォーマットは終了です。
パソコンを再起動後、『マイコンピュータ』にドライブアイコンが表示され、本製品をお使いいただけます。

ASPIFORMの処理内容について

I ディスクタイプの確認

対象のディスクが、どのフォーマット形式に従って
フォーマットされているかを判別します。

E イジェクト

本製品では使用できません。

A イジェクト許可

本製品では使用できません。

P イジェクト禁止

本製品では使用できません。

F FDISKフォーマット

- **パーティション状態の表示**
  パーティションの状態を表示します。
- **パーティションのフォーマット**
  パーティションを選択後、論理フォーマット
  します。「パーティションの作成」後には
  必要ありません。
- **パーティションの作成**
  パーティションを作成し、論理フォーマット
  する。（必ずこの作業をしてください）
- **パーティションの削除**
  末尾のパーティションを削除します。
- **ディスク初期化**
  本製品では使用しないでください。
  「ディスクデータ消去」の「完全データ
  消去」で初期化の代わりになります。
  詳しくは、下をご覧ください。

C ディスクデータ消去

- **簡易データ消去**
  データ管理情報部分のみを消去します。
- **完全データ消去**
  ディスク上のすべての情報を消去します。
  この作業には大変時間がかかります。
  (HDA-i20G/USBで約7時間)

S 設定変更

ライトキャッシュの設定をします。
初期設定は「OFF」です。

補足1　サポートソフトの削除

本製品を再びインストールする場合は、インストールされた情報を削除（アンインストール）する必要があります。

USBコンバータケーブルの情報を削除する

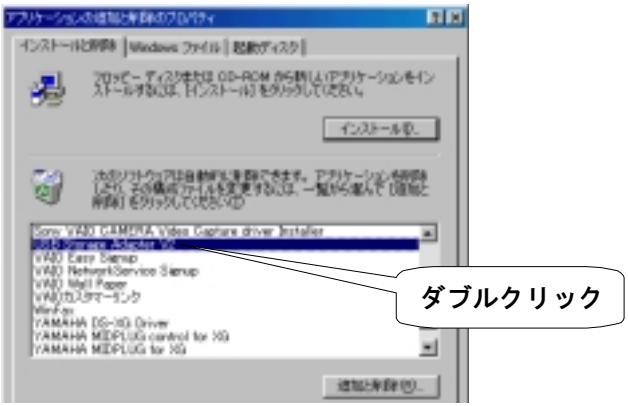
1 **パソコンの電源を切り、本製品を取り外します。**

2 **パソコンを起動します。**

3 **「アプリケーションの追加と削除」を起動します。**

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］→［アプリケーションの追加と削除］を起動します。

4 **「USB Storage Adapter V2」をダブルクリックします。**



5 **後は、画面の指示にしたがってください。**

MEMO

Windows 2000でご使用の場合

ここではWindows 2000で使用する際の設定について説明します。

ステップ1

セットアップしよう

本製品を使えるようにする手順について説明をします。(44ページ)

ステップ2

基本操作について

本製品の基本的な操作について説明をします。(50ページ)

ステップ3

フォーマットしよう

本製品のフォーマット方法について説明をします。(52ページ)

補足1

サポートソフトの削除

サポートソフトを削除（アンインストール）する方法を説明します。(66ページ)

ステップ1　セットアップしよう

ここでは、本製品を使えるようにする手順を説明しています。

1 Windows 2000にAdministrator権限でログインします。

接続手順

ここでは本製品とUSBコンバータケーブルの接続およびパソコン（USBポート）への接続について説明します。

用意するものは下の通りです。
- **本製品**
- **USBコンバータケーブル**
- **本製品添付のACアダプタ**

2 USBコンバータケーブルを本製品に接続します。

USBコンバータケーブルを本製品にまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

3 ACアダプタを本製品に接続します。

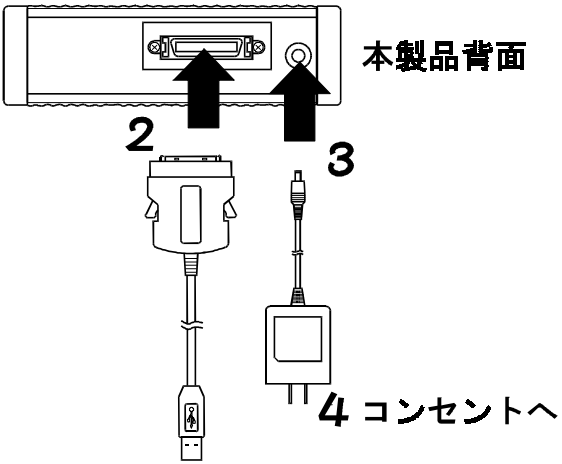
4 ACアダプタをAC100V電源コンセントに接続します。

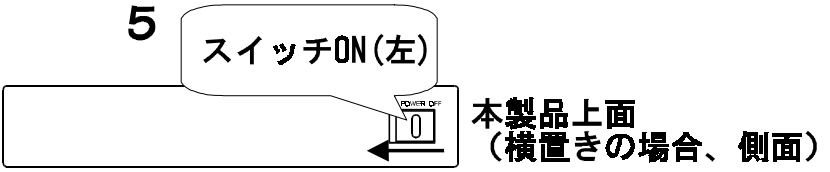
5 本製品の電源を入れます。

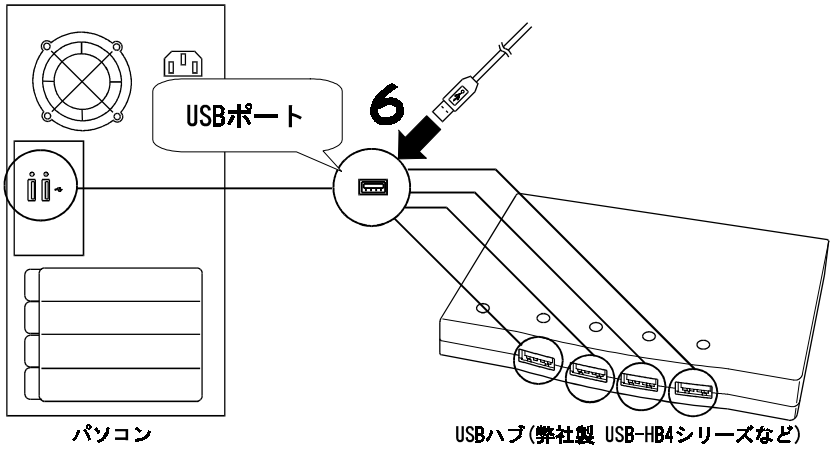
必ず本製品の電源を入れた後で、USBポートに接続してください。

6 USBコンバータケーブルをUSBポートに接続します。

手順**2**で接続したUSBコンバータケーブルのもう一方を、USBポートにまっすぐに差し込みます。


本製品背面
2
3
4 コンセントへ

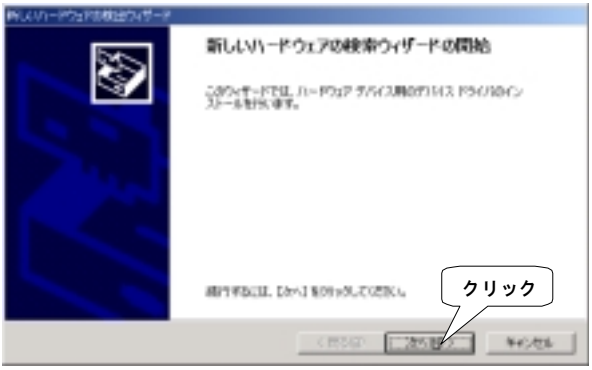

5
スイッチON(左)
POWER OFF
本製品上面
（横置きの場合、側面）


USBポート
6
パソコン
USBハブ(弊社製 USB-HB4シリーズなど)

本製品を認識させる

ここでは本製品をWindows 2000上で認識させる手順を説明します。

7 ［次へ］ボタンをクリックします。

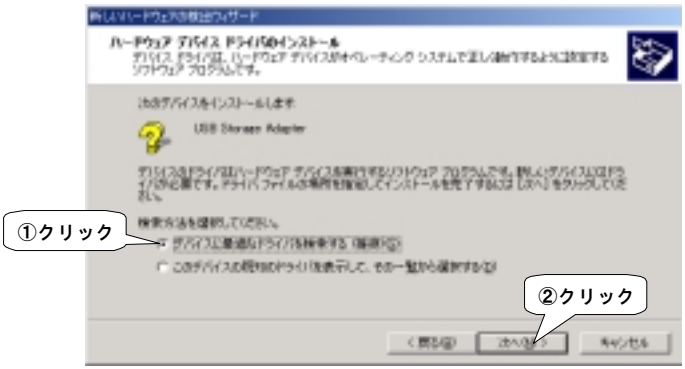


この画面が表示されない

【本製品をUSBポートに接続しても認識しない】(71ページ)をご覧ください。

8 ［デバイスに最適な……］を選択します。

9 ［次へ］ボタンをクリックします。

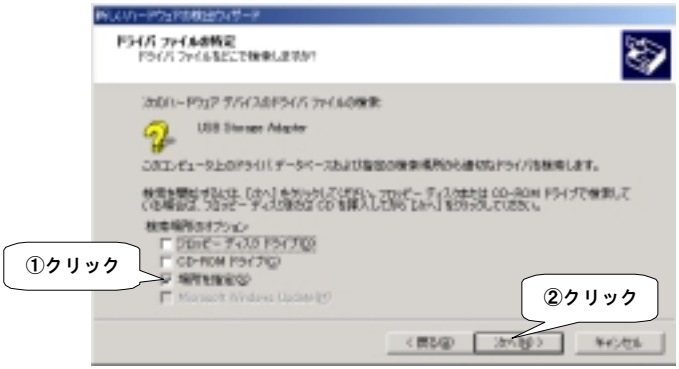


10 「HDA/USBシリーズサポートソフト」CD-ROMを挿入します。

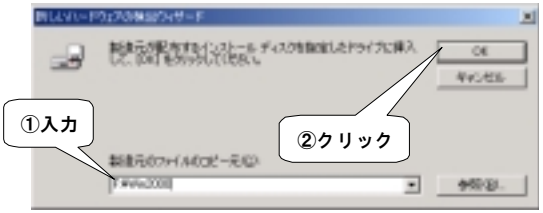
11 検索場所を指定し、［次へ］ボタンをクリックします。

①［場所を指定］のみにチェックします。

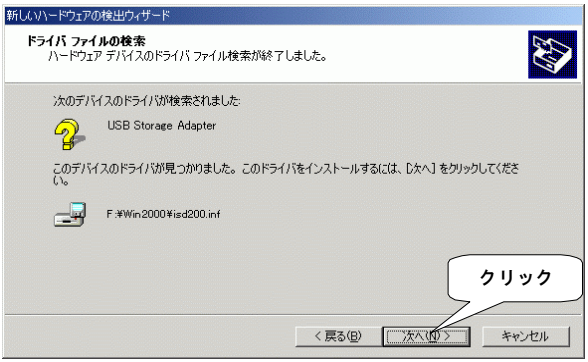
②［次へ］ボタンをクリックします。



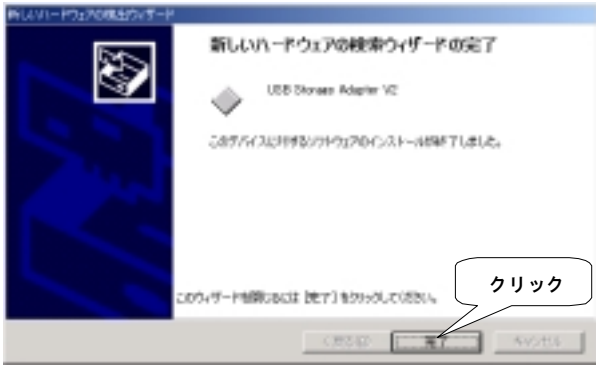
12 [Win2000]フォルダを指定し、[OK]ボタンをクリックします。



13 ［次へ］ボタンをクリックします。



14 ［完了］をクリックします。



今までの設定の確認

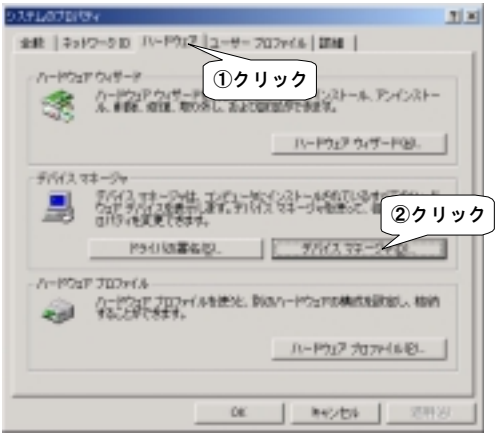
ここでは本製品のドライバが正しくインストールされているかどうか確認します。

15 「デバイスマネージャ」を起動します。

①［マイコンピュータ］を右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

②［ハードウェア］タブをクリックします。

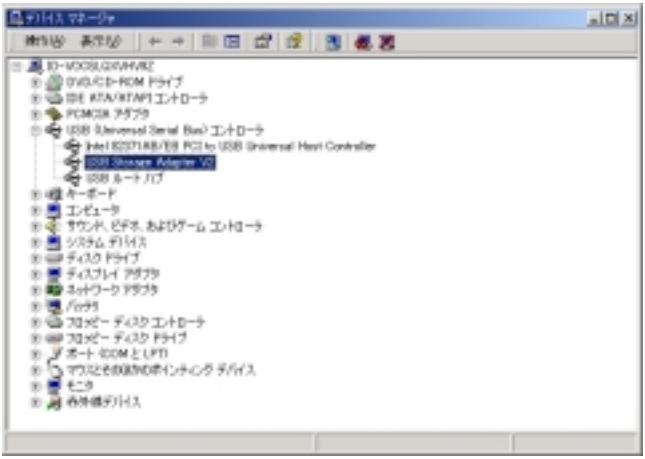
③［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。



16 [USB Storage Adapter V2]を確認します。

①[USB(Universal Serial Bus)コントローラ]をダブルクリックします。

②その下の[USB Storage Adapter V2]を確認します。



[USB Storage Adapter V2]に「！」がついている

【ドライバに「！」が付いている】(77ページ)をご覧ください。

以上でインストールは終了です。

ステップ2

基本操作について

ここでは、本製品を使うための方法を説明します。

本製品をUSBポートに接続する

本製品をUSBポートに接続する方法については【接続手順】(44ページ)をご覧ください。

必ず、本製品の電源を入れた後で、本製品をパソコンに接続してください。

本製品をUSBポートから取り外す

1 本製品のアクセスランプを確認します。

本製品のアクセスランプが点滅していないことを確認します。

本製品内にあるファイルをアプリケーションなどで開いている場合は、必ず全て閉じてください。

2 タスクトレイ内の［取り出し］アイコンをクリックします。



3 表示された「USB Storage Adapter ・・・・」をクリックします。



ドライブ文字（ドライブ番号）が本製品のものかどうか確認してください。
未フォーマット状態の場合、ドライブ文字が表示されません。

4 ［OK］ボタンをクリックします。



5 USBコンバータケーブルをUSBポートから抜きます。

●本製品を使用中（データアクセス中など）にUSBコンバータケーブル、ACアダプタは絶対に外さないでください。
●必ずUSBコンバータケーブルはパソコン本体側から先に抜いてください。
USBコンバータケーブルをパソコン本体側から抜く前に、本製品から抜かないでください。
USBコンバータケーブルを本製品から抜く前に手順6を行ってください。

6 本製品の電源を切ります。

ステップ3　フォーマットしよう

ここでは、Windows 2000で本製品をフォーマットする手順を説明しています。

パーティションとは

本製品に限らず、ハードディスクは全容量を１つ以上のいくつかの領域に分割して使用します。この領域がパーティション（区画領域）です。
パーティションを作成しないとハードディスクを使用できません。

分割したパーティション毎にドライブ文字（ドライブ名）（C、Dなど）が割り当てられるため、1台のハードディスクを複数のハードディスクのように利用できます。

例１）本製品の全容量を１つのパーティションで使用する場合
　　本製品にドライブ文字は１つ割り当てられます。

例２）本製品を3つのパーティションで使用する場合
　　本製品にドライブ文字は3つ割り当てられます。

● パーティションの種類

パーティションには以下の2つがあります。

・プライマリパーティション
「プライマリパーティション」は４つまで作ることができます。

・拡張パーティション
「拡張パーティション」は１つ作ることができます。
「拡張パーティション」内に、プライマリパーティションと同じように使える論理ドライブを複数作ることができます。
論理ドライブを複数作ることにより、ハードディスクを４つ以上に分けることができます。

パーティションを作る際の制限について

作成するファイルシステムによって「１つのパーティションの最大容量」に制限があります。

● ファイルシステムとその特徴

ファイルシステム	特徴
NTFS	１つのパーティションあたりの最大容量は、「約408,000,000Tバイト」です。
FAT32	１つのパーティションあたりの最大容量は「約2Tバイト」です。
FAT	１つのパーティションあたりの最大容量は、「約４Gバイト」です。

●T(テラ)バイト：1Tバイト=1,000Gバイト=1,000,000Mバイト
G(ギガ)バイト：1Gバイト=1,000Mバイト
●本製品を複数のOSで使う場合は、【本製品を複数のOSで使う】(79ページ)も参考としてご覧ください。

● FAT32使用時の注意

●FAT32、NTFSファイルシステムに対応していないディスクユーティリティを、FAT32、NTFSで作成したパーティションに対して使用しないでください。
●FAT32、NTFSに対応していないOSと併用する場合は、併用するOSでパーティションを作成してください。

Windows 2000でハードディスクを使用するには、ディスクに署名をする必要があります。

本製品に、ディスクのアップグレードはできません。そのため、本製品をダイナミックディスクとしてお使いいただくことはできません。あらかじめご了承ください。

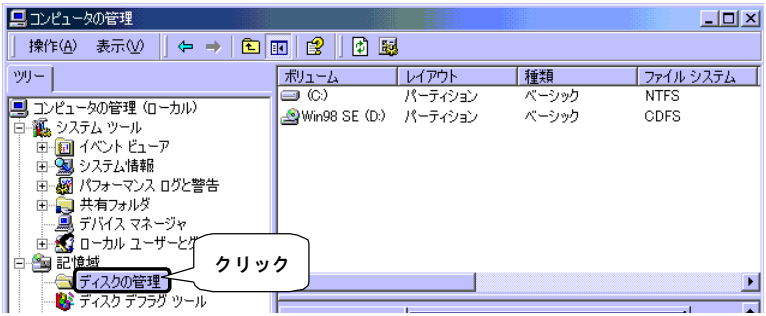
1 「コンピュータの管理」を起動します。

［マイコンピュータ］→［コントロールパネル］→［管理ツール］→［コンピュータの管理］を起動します。

2 ［ディスクの管理］をクリックします。

［記憶域］の下の［ディスクの管理］をクリックします。

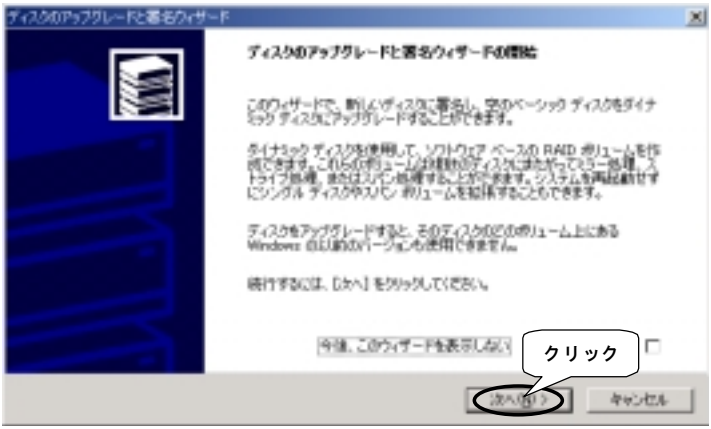
⇒「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が表示されます。



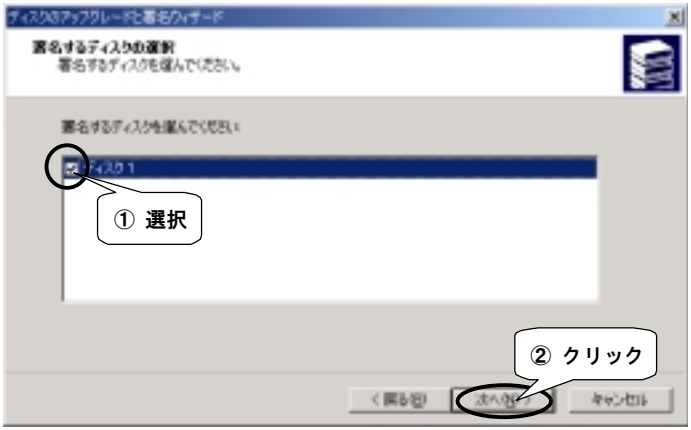
「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が表示されない

- **本製品が正しく接続されていません。【接続手順】(44ページ)をご覧ください。**
- **表示されない設定になっています。署名したいハードディスクを右クリックし、表示された［署名］をクリックしてください。**
- **すべてのハードディスクは署名されています。【パーティションの作成とフォーマット】(57ページ)にお進みください。**

3 ［次へ］ボタンをクリックします。



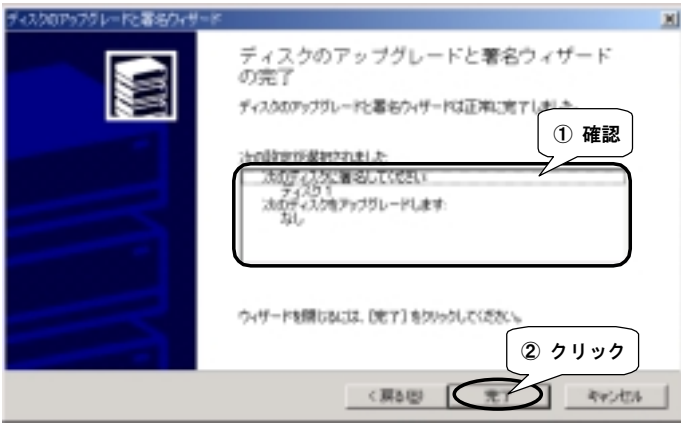
4 署名するディスクを選び、［次へ］ボタンをクリックします。



署名をしないと、ハードディスクは使用できません。
必ず署名をしてください。

5 設定を確認して、［完了］ボタンをクリックします。

選択した設定が正しいことを確認して［完了］ボタンをクリックします。
⇒署名されます。

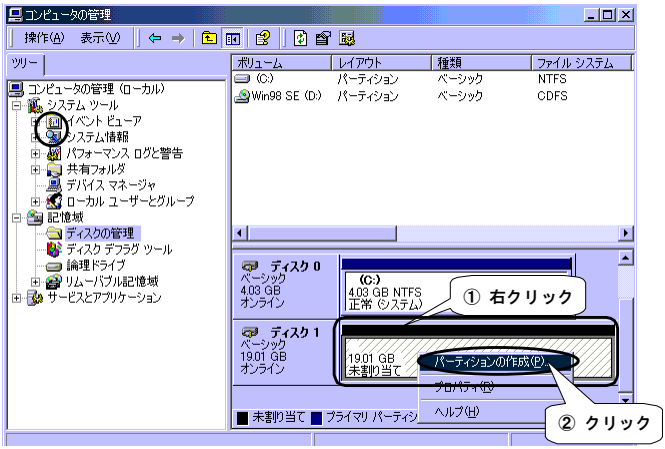


次ページの【パーティションの作成とフォーマット】にお進みください。

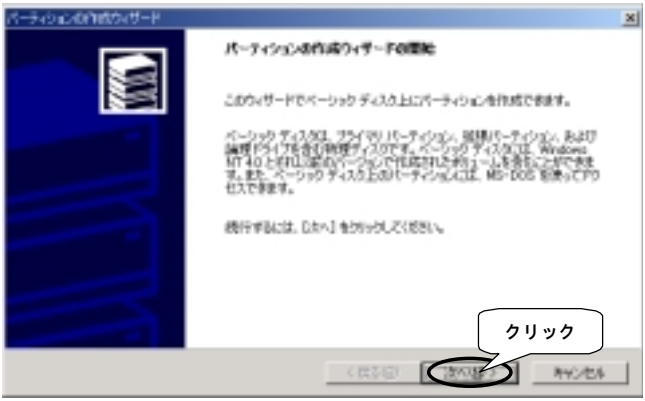
1 「パーティションの作成ウィザード」を起動します。

フォーマットしたいハードディスクの未割り当ての領域を右クリックし、表示された［パーティションの作成］をクリックします。

⇒「パーティションの作成ウィザード」が起動します。

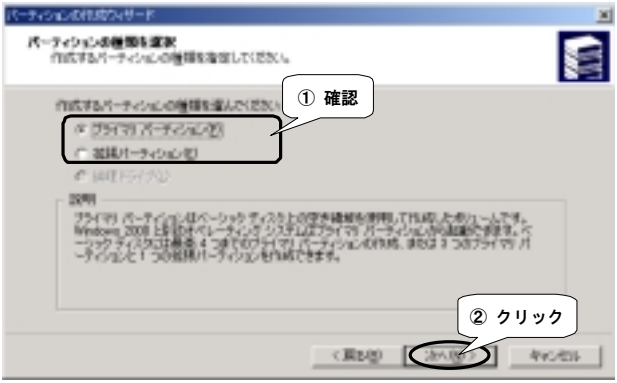


2 ［次へ］ボタンをクリックします。



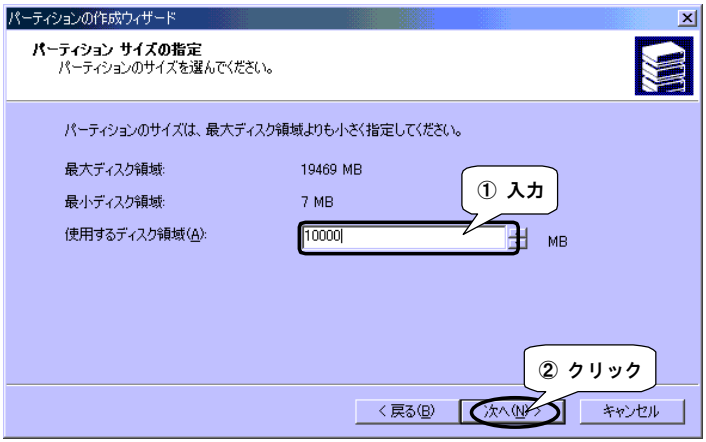
3 作成する種類を選び、［次へ］ボタンをクリックします。

作成するパーティションの種類を選びます。
パーティションについては画面内の説明をご覧ください。
その後、［次へ］ボタンをクリックします。



4 使用する容量を入力し、［次へ］ボタンをクリックします。

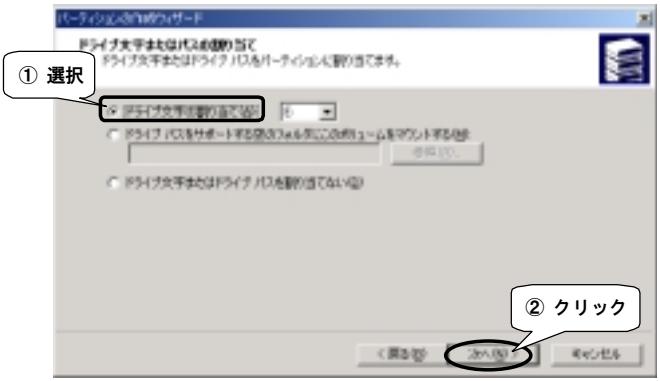
この後、プライマリパーティションを作成した場合は手順**5**へ、
拡張パーティションを作成した場合は手順**9**へ進みます。



この後、手順7でファイルシステムに「FAT」を選択しようとしている場合は、2047Mバイトまでの容量に設定してください。

5 ドライブ文字を選び、［次へ］ボタンをクリックします。

［ドライブ文字の割り当て］を選択します。
その後、［次へ］ボタンをクリックします。



［ドライブ文字の割り当て］だけでなく、［ドライブパスをサポートする空のフォルダにこのボリュームをマウントする］を選択することもできます。
［ドライブパスをサポートする空のフォルダにこのボリュームをマウントする］についての詳細は、Windows 2000の取扱説明書もしくはオンラインヘルプをご覧ください。

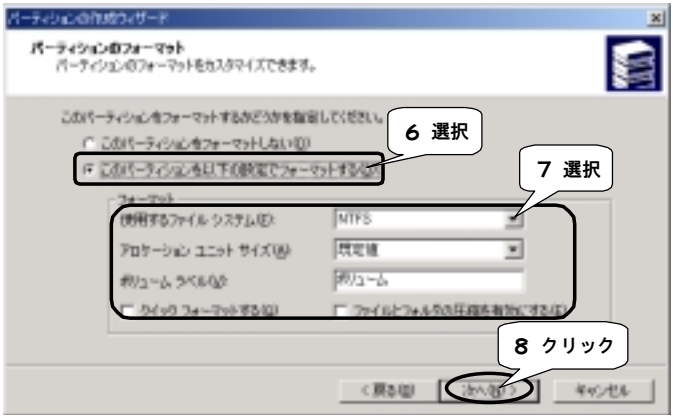
6 フォーマットするように指定します。

［このパーティションを以下の設定でフォーマットする］を選択します。

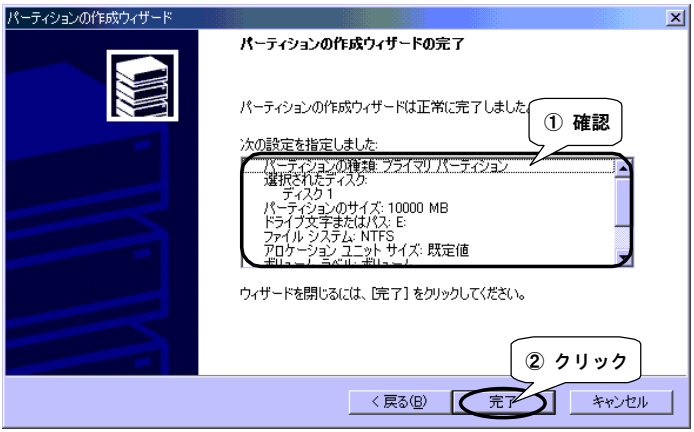
7 ファイルシステムの設定をします。

フォーマットの中の「使用するファイルシステム」項目を設定します。
項目の詳細については、Windows 2000の取扱説明書もしくはオンラインヘルプをご覧ください。

８　［次へ］ボタンをクリックします。



９　設定内容を確認して、［完了］ボタンをクリックします。



プライマリパーティションを作成した場合は、お使いいただけます。

⇒「マイコンピュータ」に本製品のアイコンが表示されます。今後は、本製品のアイコンを右クリックし、表示された［フォーマット］を選択するだけでフォーマットできます。

拡張パーティションを作成した場合は、次ページに進んでください。

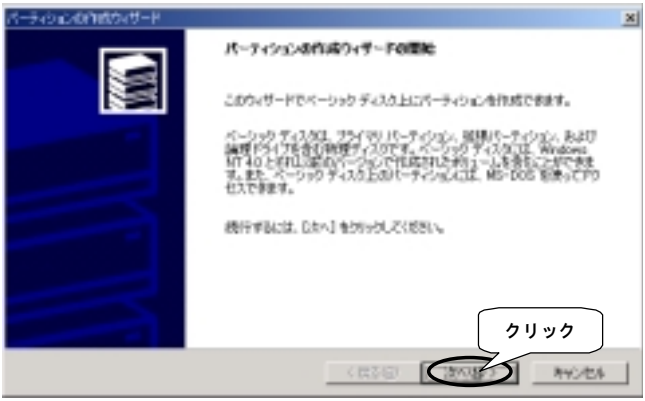
まだ本製品の容量があまっている場合は、本作業手順をさらに行ってください。

1　「空き領域」に論理ドライブを作成します。

論理ドライブを作成する拡張領域の「空き領域」を右クリックし、表示された［論理ドライブの作成］をクリックします。

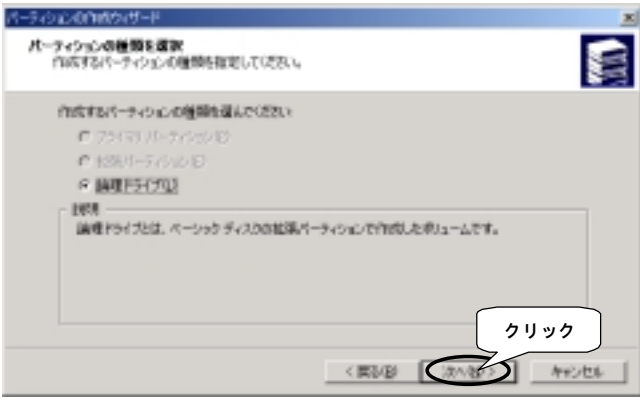


2　［次へ］ボタンをクリックします。

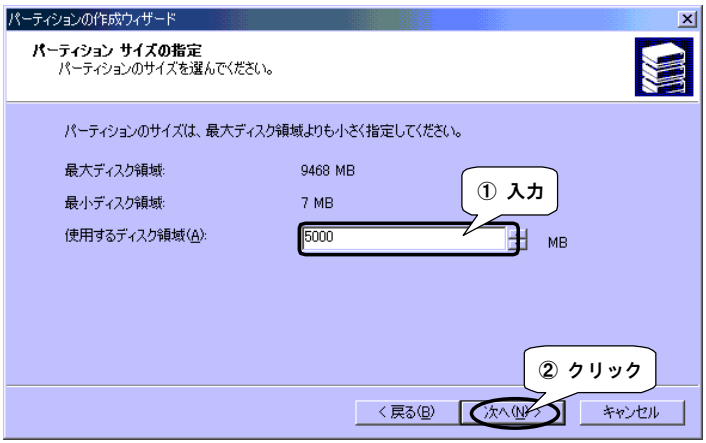


3 ［次へ］ボタンをクリックします。

このとき、［論理ドライブ］が選択されていることを確認してください。



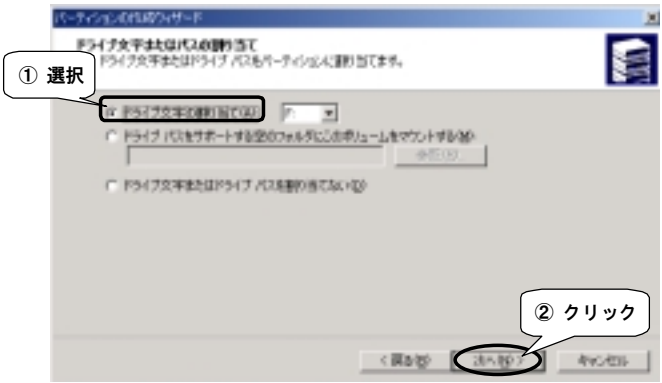
4 使用する容量を入力し、［次へ］ボタンをクリックします。



この後、手順６でファイルシステムに「FAT」を選択しようとしている場合は、約2047Mバイトまでの容量に設定してください。

5 ドライブ文字を選び、［次へ］ボタンをクリックします。

［ドライブ文字の割り当て］を選択します。
その後、［次へ］ボタンをクリックします。



［ドライブ文字の割り当て］だけでなく、［ドライブパスをサポートする空のフォルダにこのボリュームをマウントする］を選択することもできます。
［ドライブパスをサポートする空のフォルダにこのボリュームをマウントする］についての詳細は、Windows 2000の取扱説明書もしくはオンラインヘルプをご覧ください。

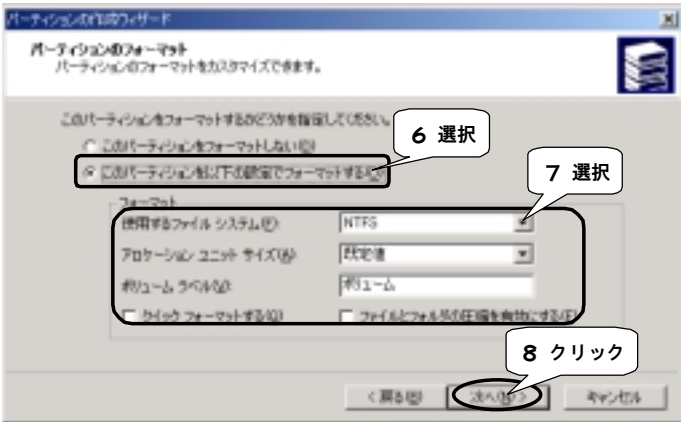
6 フォーマットするように指定します。

［このパーティションを以下の設定でフォーマットする］を選択します。

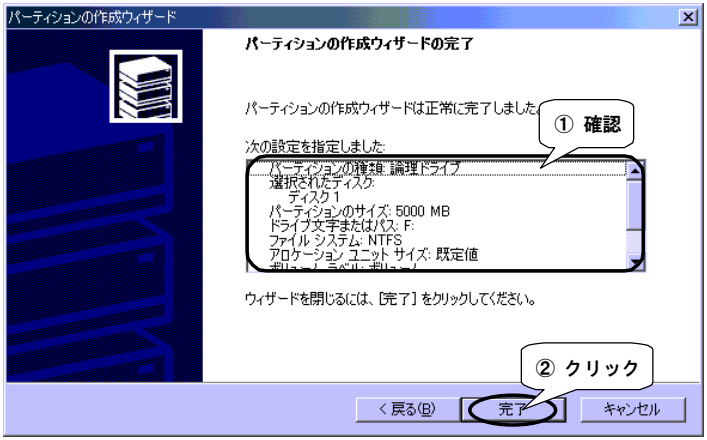
7 ファイルシステムの設定をします。

フォーマットの中の「使用するファイルシステム」項目を設定します。
項目の詳細については、Windows 2000の取扱説明書もしくはオンラインヘルプをご覧ください。

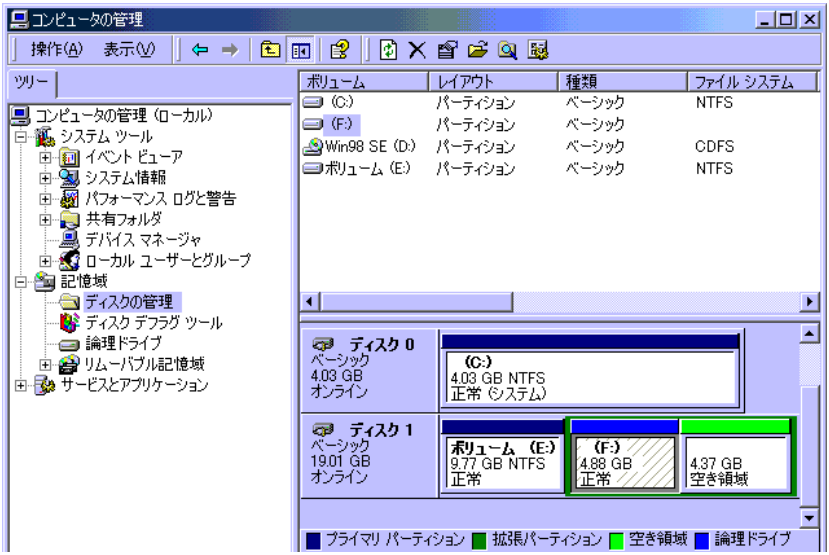
8 ［次へ］ボタンをクリックします。



9 設定内容を確認して［完了］ボタンをクリックします。



以上で論理ドライブの作成は終了です。
以下の例のように作成されているはずです。
（空き領域については、同様に論理ドライブを作成します。）



補足1　サポートソフトの削除

本製品を再びインストールする場合は、インストールされた情報を削除（アンインストール）する必要があります。

USBコンバータケーブルの情報を削除する

1 **パソコンの電源を切り、本製品を取り外します。**

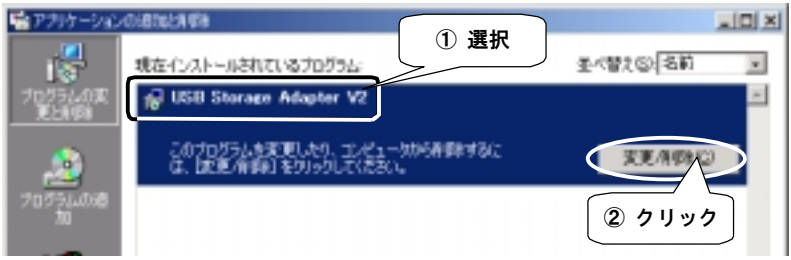
2 **Administrator権限を持つユーザーでログインします。**

3 **［アプリケーションの追加と削除］を起動します。**

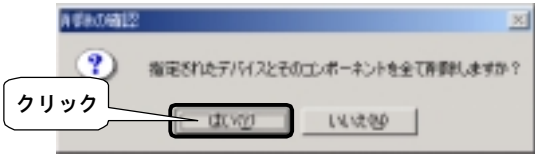
［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］の順にクリックします。表示された「コントロールパネル」内の［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

4 **［USB Storage Adapter V2］を指定します。**

［USB Storage Adapter V2］を選択し、［削除］ボタンをクリックします。



5 **［はい］ボタンをクリックします。**



6　［はい］ボタンをクリックします。

⇒再起動されます。



MEMO

付録

困った時には
本製品を使用中に、異常があったときにご覧ください。(70ページ)

本製品を複数のOSで使う
本製品を複数のOSで使う場合について説明します。(79ページ)

i・CONNECTについて
本製品が対応している「i・CONNECT」について説明します。(82ページ)

用語解説
本書内の用語を説明します。(83ページ)

ハードウェア仕様
本製品の仕様を説明します。(84ページ)

困った時には

共通のトラブル
OSに関係しない異常について説明します。(71ページ)

Mac OSでのトラブル
Mac OSで本製品を使用する際の異常について説明します。(73ページ)

Windows 98でのトラブル
Windows 98で本製品を使用する際の異常について説明します。(75ページ)

Windows 2000でのトラブル
Windows 2000で本製品を使用する際の異常について説明します。(77ページ)

トラブル	内容	ページ
共通	本製品をUSBポートに接続しても認識しない	71
	本製品を読み書きしていると他のUSB機器が認識しない	
	本製品からOSを起動できない	
	スリープ・スタンバイから戻ると、本製品が認識されていない	72
	本製品を取り外すと「デバイスの取り外しの警告」が表示される	
	USBハブに本製品を接続しているとエラーが発生する	
Mac OS	「USB装置"USB Storage Adapter"・・・・・」と表示される	73
	本製品に複数のボリュームを作成できない	74
Windows 98	「マイコンピュータ」の中に本製品のアイコンがない	75
	ドライバに「!」マークが付いている	
	・本製品を接続すると、パソコンが止まってしまう ・本製品を接続してパソコンを起動すると、Safeモードになる	76
Windows 2000	「マイコンピュータ」の中に本製品のアイコンがない	77
	ドライバに「!」が付いている	
	フォーマット作業を行うとエラー画面が表示された	78

共通のトラブル

本製品をUSBポートに接続しても認識しない

原因１ **他のUSB機器にバスを占有されている（弊社製USB-CCDでキャプチャしているなど）**

この場合すぐには、認識されません。他のUSB機器の占有が終わってから、本製品をUSBポートに接続してください。

原因２ **インストールが正しく行われていない**

それぞれのOSの【サポートソフトの削除】の作業を行った後、もう一度各OSの【セットアップしよう】をしてください。

原因３ **本製品の接続が正しくない**

本製品を取り外し、もう一度しっかりと接続しなおしてください。

本製品を読み書きしていると他のUSB機器が認識しない

原因 **本製品がバスを占有している**

この場合すぐには、認識されません。本製品の占有が終わってから、USB機器をUSBポートに接続してください。

本製品からOSを起動できない

原因 **本製品からのOSの起動には対応していない**

本製品からのOSの起動には対応していないため、本製品からOSは起動できません。

スリープ・スタンバイから戻ると、本製品が認識されていない

原因 **スリープ・スタンバイから復帰する際に認識されなくなることがある**

本製品を一度抜き、また接続してください。

本製品を取り外すと「デバイスの取り外しの警告」が表示される

原因 **取り外しの正しい手順を行っていない**

各OSの【本製品をUSBポートから取り外す】(21, 32, 50ページ)をご覧ください。

USBハブに本製品を接続しているとエラーが発生する

原因 **USBハブによっては本製品が正常に動作しない**

USBハブから本製品を取り外し、本体のUSBポートに接続してください。

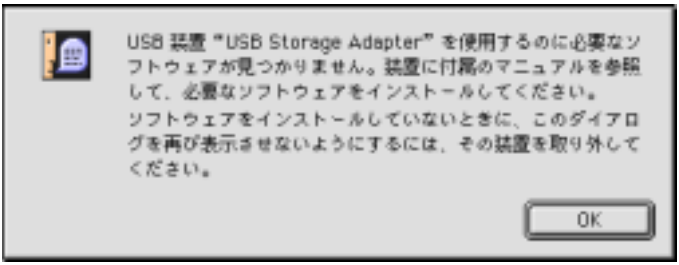
Mac OSでのトラブル

「USB装置“USB Storage Adapter”・・・・・・」と表示される

原因 **ドライバがインストールされていない**

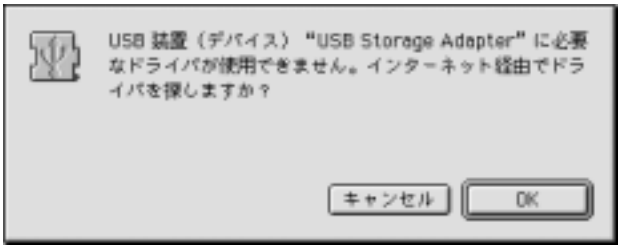
Mac OS 8.6の場合

以下のような画面が出たら、［OK］ボタンを押し、【セットアップしよう】(14ページ)をご覧になって、ドライバのインストールを行ってください。



Mac OS 9の場合

以下のような画面が出たら、［キャンセル］ボタンを押し、【セットアップしよう】(14ページ)をご覧になって、ドライバのインストールを行ってください。



本製品に複数のボリュームを作成できない

原因 **本製品は複数のボリューム作成に対応していない**

複数ボリュームの対応を検討しておりますが、対応時期については未定です。

Windows 98でのトラブル

「マイコンピュータ」の中に本製品のアイコンがない

原因1 本製品の接続が正しくない

本製品を取り外し、【接続手順】(26ページ)の手順で接続してください。

原因2 本製品がフォーマットされていない

【フォーマットしよう】(33ページ)の作業をしてください。

原因3 「更新」されていない

「マイコンピュータ」の［表示］→［最新の情報に更新］をクリックしてください。

原因4 インストールが正常に行われていない

【サポートソフトの削除】(41ページ)の作業を行った後、【セットアップしよう】(26ページ)をしてください。

ドライバに「！」が付いている

原因 インストールが正常に行われていない

【サポートソフトの削除】(41ページ)の作業を行った後、【セットアップしよう】(26ページ)をしてください。

・本製品を接続すると、パソコンが止まってしまう
・本製品を接続してパソコンを起動すると、Safeモードになる

原因１　本製品の電源を入れずに接続した

必ず本製品の電源を入れてから、本製品をパソコンに接続してください。

原因２　USBコンバータケーブルが正常に接続されていない

1 **USBポートから本製品を取り外します。**

2 **パソコンを再起動します。**

3 **USBコンバータケーブルの接続を確認します。**

【接続手順】(26ページ)を参照して、USBコンバータケーブルを接続しなおします。

4 **本製品を再びUSBポートに接続します。**

Windows 2000でのトラブル

「マイコンピュータ」の中に本製品のアイコンがない

原因1 本製品の接続が正しくない

本製品を取り外し、【接続手順】(44ページ)の手順で接続してください。

原因2 本製品がフォーマットされていない

【フォーマットしよう】(52ページ)の作業をしてください。

原因3 「更新」されていない

「マイコンピュータ」の［表示］→［最新の情報に更新］をクリックしてください。

原因4 インストールが正常に行われていない

【サポートソフトの削除】(66ページ)の作業を行った後、【セットアップしよう】(44ページ)をしてください。

ドライバに「！」が付いている

原因 インストールが正常に行われていない

【サポートソフトの削除】(66ページ)の作業を行った後、【セットアップしよう】(44ページ)をしてください。

フォーマット作業を行うとエラー画面が表示された

原因　フォーマットが完了する前に終了してしまっている

「ディスクの管理」でパーティションの作成とフォーマットをした場合、以下のメッセージが表示され、フォーマットが完了せずに「パーティションの作成ウィザード」が完了する場合があります。

「ボリュームは開かれているか、または使用中です。
要求を完了できません。」

この画面が表示された状態では、フォーマットはされていませんが、パーティションの作成は終わっています。

この画面が表示されたら、［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じます。「ディスクの管理」から、作成されたパーティションを右クリックし、表示された［フォーマット］をクリックすることにより、作業が完了します。

本製品を複数のOSで使う

本製品を複数のOSで使う場合は、それぞれのOSで認識できるファイルシステムにてパーティションを作成しなくてはいけません。
ここでは、各OSがどのファイルシステムに対応しているかについて説明します。

**本製品をMac OSとWindowsやMS-DOS(PC DOS)とで併用することはできません。
他方に使い変えたい場合は、本製品をフォーマットしてお使いください。**

● ファイルシステムとその特徴

・Windows 98およびWindows 95(バージョン 4.00.950 B,4.00.950 C)

ファイルシステム	特徴
FAT32	１つのパーティションあたりの最大容量は「約2Tバイト」です。 ただし、MS-DOSなどのFAT32に対応していないOSではアクセスできません。
FAT16	ほとんどのOSで使用できます。 ただし、１つのパーティションあたりの最大容量は、「2047Mバイト」です。

・Windows 95(バージョン 4.00.950,4.00.950a)、Windows 3.1およびMS-DOS

ファイルシステム	特徴
FAT16	ほとんどのOSで使用できます。 ただし、１つのパーティションあたりの最大容量は、「2047Mバイト」です。

■ Windows 95のバージョンの確認方法

[マイコンピュータ]アイコンを右クリックし、[プロパティ]を選択します。画面の表示をご確認ください。



・Windows 2000

ファイルシステム	特徴
NTFS	１つのパーティションあたりの最大容量は、 「約408,000,000Tバイト」です。 ただし、NTFSに対応していないOSではアクセスできません。
FAT32	１つのパーティションあたりの最大容量は「約2Tバイト」です。 ただし、MS-DOSなどのFAT32に対応していないOSではアクセスできません。
FAT	ほとんどのOSで使用できます。 １つのパーティションあたりの最大容量は、「約４Gバイト」ですが、Windows 98/95,Windows 3.1,MS-DOSなどで使用する場合は、「2047Mバイト」までにする必要があります。

・Windows NT 4.0

ファイルシステム	特徴
NTFS	１つのパーティションあたりの最大容量は、 「約408,000,000Tバイト」です。 ただし、NTFSに対応していないOSではアクセスできません。
FAT	ほとんどのOSで使用できます。 １つのパーティションあたりの最大容量は、「約４Gバイト」ですが、Windows 98/95,Windows 3.1,MS-DOSなどで使用する場合は、「2047Mバイト」までにする必要があります。

●ＯＳ（およびバージョン）毎の使用できるファイルシステム

使用OS(バージョン)	ファイルシステム			
	NTFS	FAT32	FAT16	FAT
Windows 98	×	○	○	○
Windows 95 (4.00.950/4.00.950a)	×	×	○	○
Windows 95 (4.00.950 B/4.00.950 C)	×	○	○	○
Windows 2000	○	○	○	○
Windows NT 4.0	○	×	○	○
Windows 3.1およびMS-DOS(PC DOS)	×	×	○	○

○：使用可　×：使用不可

i・CONNECTについて

本製品は「i・CONNECT」に対応しています。
「i・CONNECT」とは、内蔵型の各種IDE/ATAPIドライブを外付型デバイスとして幅広く活用するためにアイ・オーが考案した接続用コネクタ規格です。

IDE/ATAPIドライブは多くのパソコン本体に標準実装されているため、最新の高性能ドライブをタイムリーにローコストで安定供給できます。

また、i・CONNECT搭載ドライブはマルチインターフェイス対応です。
コンバータケーブルにより「USB」接続ドライブや「IEEE1394(FireWire,i.LINK)」接続ドライブ、Duo ATA PCカードで「PCカード」接続ドライブとしても使用できます。



用語解説

USB(ユーエスビー)(Universal Serial Bus)

パソコンと周辺機器を接続する規格の１つ。パソコンと電話回線の接続性向上、接続のしやすさ、増設のしやすさなどを主な目的として1995年に公開された。

- コネクタ形状の一元化により、周辺機器のインターフェイスが統一される。
- デスクトップパソコンでもノートパソコンでも使用できる。
- Hot Plug対応でパソコン起動中でも抜き挿しできる。
- USBポートから電源供給が可能なので外部電源がいらない。
  （消費電流が低い場合）
- 複数のIRQを使用しないので、機器間の競合が少なくなる。

などの特長を持つ。
転送速度は、ハイスピードモード（12Mbps）とロースピードモード（1.5Mbps）の２種類がある。本製品はハイスピードモードで動作している。

ファイルシステム

ディスク内でどのようにファイルを管理するかを決めた方式。ファイルシステムは，各OSによって異なる。

ハードウェア仕様

●HDAシリーズ

ハードウェア仕様については、添付の別紙をご覧ください。

●USBコンバータケーブル

インターフェイス仕様	USB 1.1準拠
転送速度	USB：12Mbps（理論値）
電源	DC 5V　220mA
動作温度	+5～+35℃ （パソコンの動作する温度範囲内であること）
動作湿度	20～80%（結露なきこと）
長さ	1m
質量	約62g

サポートセンターへのお問い合わせ

弊社サポートセンターへのお問い合わせはユーザー登録された方に限ります。
以下に記入して、お問い合わせのときにお知らせください。
連絡方法については次ページをご覧ください。

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアルNo.
   (本書の巻末に貼ったVerシールに印刷されています。)
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。
6. Mac OSでお使いの場合は、FireWireマネージャのバージョン。
   （アップルメニュー内のシステムプロフィールにてご確認ください。）

《連絡方法》

■オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ　http://www.iodata.co.jp/support/
「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを使用してE-mailをお送りください。

@nifty　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)サポート会議室

■郵便

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町15街区7　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「HDA/USBシリーズ」係　宛

■電話

電話番号　本社　076-260-3366
東京　03-3254-0301
受付時間　9:30～19:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

■FAX

FAX番号　本社　076-260-3360
東京　03-3254-9055
宛先　株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「HDA/USBシリーズ」係　宛

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	**http://www.iodata.co.jp/ →「ｻﾎﾟｰﾄ・ﾗｲﾌﾞﾗﾘ」**
@nifty	**ｱｲ・ｵｰ・ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)のﾗｲﾌﾞﾗﾘ5(LIB 5)**

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料および手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町15街区7 ｱｲ･ｵｰ・ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「HDA/USBシリーズ」 サービス窓口　宛

電話番号　076-260-3663

受付時間　9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。
●このサービスへのご質問は、弊社サポートセンターやサービス窓口ではお受けできません。

保証について

◎保証期間

・保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。
お送りいただいた製品を検査後、有償となる場合のみ往復ハガキにて修理金額をご案内いたします。修理するか否かを送られてきた往復ハガキにご記入の上、ご返送ください。
また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

・弊社が販売中止を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

◎保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

・本製品の使用によって生じた、データの消失および破損。
・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼頂くか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。

- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合

- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

- 修理品送付先

住所 **〒920-8513 石川県金沢市桜田町15街区7 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル**
株式会社アイ・オー・データ機器
「HDA/USBシリーズ」 修理係 宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

- サービス窓口

電話番号 **金沢 076-260-3663**

受付時間 **9:30～12:00 13:00～17:00**
月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。